

2013年9月11日

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン・アセットマネジメント

宇佐美 博高から皆様へのメッセージ

独創性と高度な技術が日本経済の活力に

9月3日、国立科学博物館は、「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」として新たに22件の登録を発表しました。同博物館では、国民生活・経済・社会・文化の在り方に顕著な影響を与えた資料の保存とともに、科学技術を担ってきた先人たちの経験を次世代に継承していくことを目的として、こうした登録制度を2008年度から始めています。そして、今回の発表分を含めると、未来技術遺産の登録数は、これまでで計135件となります。今回は「世界初の除虫菊を含む蚊取り線香」、「世界最薄のカード電卓」、「肩掛け携帯電話」などが選ばれましたが、改めて過去に選定された品目一覧を眺めてみますと、ウォークマンをはじめ、世界初の液晶電卓、世界初の家庭用ビデオテープレコーダー、世界初のデジタルカメラ試作機など、その独創性によって世界を席卷した製品が多いことに改めて驚かされます。過去から蓄積された日本の技術の質と量、その奥深さを思い知らされたような気がしました。もちろん、こうした日本の強さは現在にも引き継がれています。折しも、9月4日に世界経済フォーラムが発表した「2013年版世界競争力報告」では、日本が総合順位を3年ぶりに上昇させて9位となりました。これは、日本が技術革新力や顧客優先度について、国際的にも高い評価を得ていることを示す一例と言えるでしょう。

独創的なビジネスモデルの宝庫である新興株式市場も、日本の強さを示す場になり得ると考えられます。とりわけIPO（株式の新規公開）社数は、新興株式市場そして中小型株式の活気を示すバロメータであるばかりでなく、日本がどれだけユニークなビジネスを生み出しているかを計る指標にもなるという意味で注目されています。このようななか、2013年は9月6日まででIPOを行なう企業が、承認済みを含めて既に31社と、前年を上回るペースで生まれており、量的な面で明確に良い傾向を示しています。もちろん、質の面でも例年に劣らず魅力的な企業が多いと私どもでは、受け止めています。IPOのロードショー（会社説明会）でお会いする経営者の方々から、非常にユニークなビジネスモデルや、革新的な製品開発構想などの話をお聞きする度に、日本には高度な技術や独創性が溢れていることを改めて実感させられます。

1/5

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

日本企業を取り巻く経済環境の改善傾向が引き続き確認されるなか、日本銀行は9月4日～5日に開いた金融政策決定会合において景気判断を「緩やかに回復している」とし、2ヵ月ぶりに上方修正しました。我が国の新興企業にとって、このような経済環境は、自社の持つ技術や獨創性を活かして一段の成長を実現する大きなチャンスと考えられます。実際、日々の個別面談において「これまで取引ができなかった顧客が開拓できそう」、「新製品の採用事例が増えてきた」といった声を聞くことが増えてきた印象を持っております。新興企業が活躍する機会が増えていくことで、日本経済復活に向けた新たな活力が加わることは大いに期待できましよう。

日本には株式市場での認知度が低いものの大きな潜在成長力を秘めた企業がまだまだ多く存在しています。当ファンドでは個別面談を中心とする積極的な調査・分析によって、そうした企業を一社でも多く発掘し、50社パッケージに組み入れていきたいと思ひます。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント
宇佐美 博高

※上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

<リスク情報>

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【未上場株式などの組入リスク】

<低流動性資産のリスク>

未上場会社の発行する株式など流動性の低い証券については、保有証券を直ちに売却できないことも考えられます。また、このような証券の転売についても契約上制限されていることがあり、ファンドの資金流動性に影響を与え、不測の損失を被るリスクがあります。

(次頁に続きます)

3/5

■当資料は、投資者の皆様は「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

(前頁より続きます)

<財務リスク>

未上場会社の発行する株式などは、会社の沿革、規模などの観点から、社会、政治、経済の情勢変化に大きな影響を受け易く、予想に反し、会社の業績、資金調達などにおいて懸念が生じる場合もあります。このような懸念が生じた場合、時価評価額の見直しが行なわれるため、基準価額が影響を受けることも考えられます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

<その他の留意事項>

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

商品分類	: 追加型投信／国内／株式
ご購入単位	: 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	: 購入申込受付日の基準価額
信託期間	: 2018年7月17日まで(2003年7月18日設定)
決算日	: 毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	: 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	: 換金請求受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
ご換金代金のお支払い	: 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	: 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。(2014年1月1日以降) ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

- 購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.15%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額
＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞
- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.995%(税抜1.9%)を乗じて得た額
- その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- 投資顧問会社 : エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
- 受託会社 : 野村信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>
〔コールセンター〕 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
かざか証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第58号	○			

(50音順、当資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。